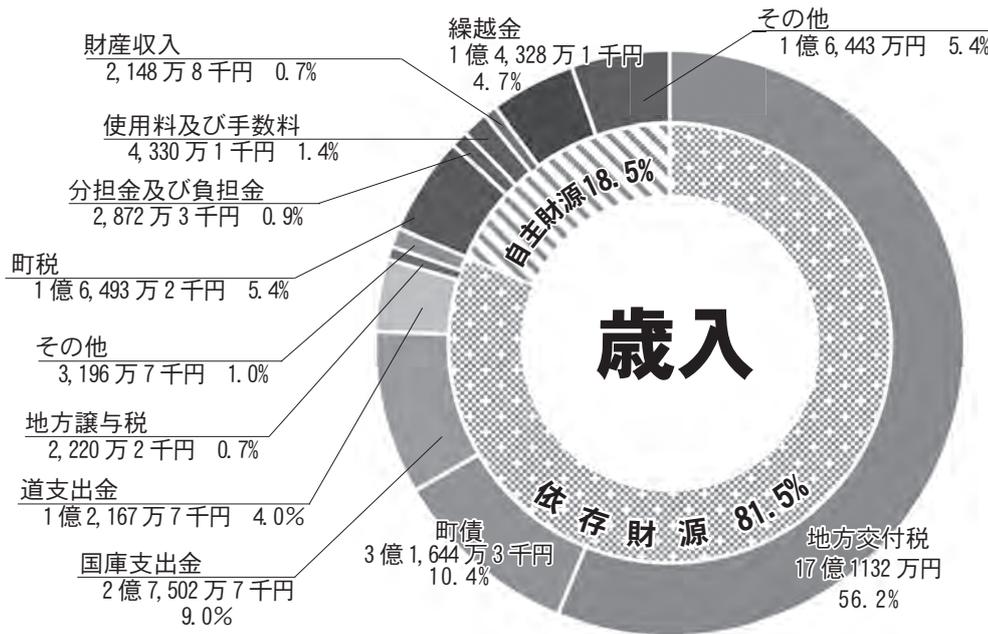


一般会計

歳入決算額 30億4,479万2千円 (対前年度 2億5,741万円 増)



【地方交付税の使い道】

(単位：千円)

地方交付税	歳出決算額		差引残額
	計	主な内訳	
1,711,320	1,707,776	人件費	539,035
		扶助費	113,340
		公債費	334,814
		負担金等	322,357
		繰出金	398,230
			3,544

人件費：職員の給与、議会議員や各種委員等の旅費等
 扶助費：児童手当、就学援助費、乳幼児医療費等
 公債費：地方債の償還元金・利子

負担金等：消防組合・後志広域連合等の負担金
 産業団体等の補助金・助成金等
 繰出金：特別会計への繰出金

平成26年度各会計決算から見る まちなちの財政事情

実質収支は約1億8千万 円の黒字決算

平成26年度一般会計及び特別会計の歳入総額は38億2,142万円(前年度比2億5,884万8千円、7.3%増)、歳出総額は35億8,487万5千円(前年度比1億6,558万4千円、4.8%増)、差引2億3,654万5千円で、翌年度に繰り越すべき財源を控除した実質収支は1億7,858万4千円となりました。一般会計の歳入の内訳を見ると、町税などの自主財源は約19%、地方交付税など国などから交付される依存財源が約81%を占めており、国などの地方財政支援に頼る構造が依然続いている状況がわかります。また、歳出総額のうち人件費や扶

平成26年度の町の各会計歳入歳出決算が、12月の第4回町議会定例会で認定されました。町の予算は、どのように使われたのか、その概要についてお知らせします。

※各表・グラフの計数は四捨五入しているため、合計において一致しない場合があります。

助費等の義務的経費、北後志消防組合負担金などを含む補助費、特別会計への繰出金を合わせた約17億円は地方交付税(17億1千万円)とほぼ同額となっており、町独自の新たな振興策や施策の充実に向ける財源に余裕が無い状況が続いています。さらに、町が大きく依存している前述の地方交付税については、平成20年のリーマンショックによる急激な景気後退による地方の税収減少を受け、国が平成21年度から継続してきた別枠加算と言われる特例措置の廃止が国において議論されており、今後の財政運営は予断を許さないものとなっています。そのような厳しい財政運営が予想される将来を見据えると、行政サービスの維持のため、町税や住宅・上下水道使用料など

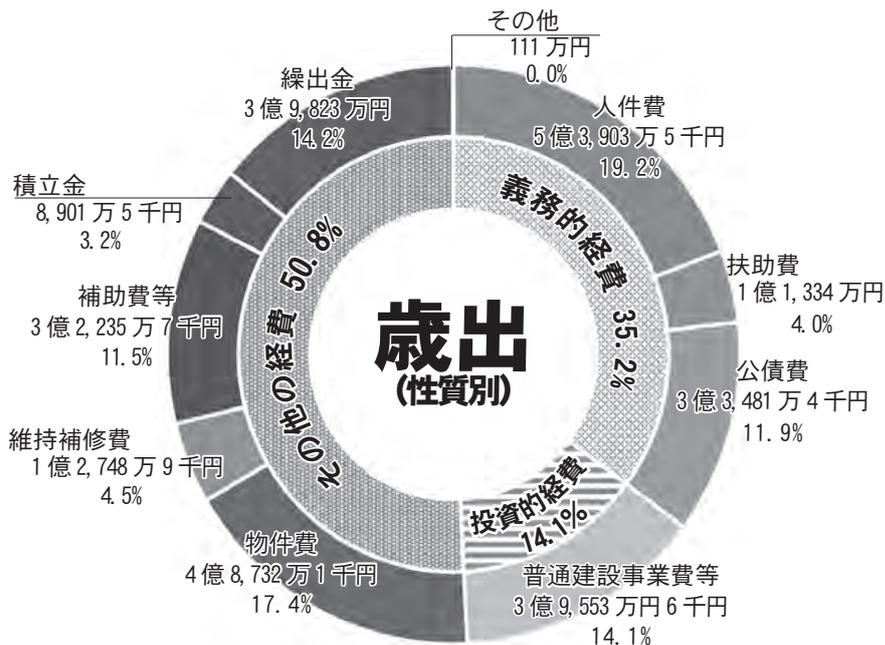
一般会計

歳出決算額 28 億 824 万 7 千円 (対前年度 1 億 6,414 万 6 千円 増)

歳出 (目的別)

(千円)

区 分	歳出額	構成比
議 会 費	53,508	1.91%
総 務 費	981,428	34.95%
民 生 費	367,673	13.09%
衛 生 費	131,514	4.68%
農林水産業費	118,545	4.22%
商 工 費	91,066	3.24%
土 木 費	331,969	11.82%
消 防 費	188,036	6.70%
教 育 費	198,937	7.08%
公 債 費	334,814	11.92%
そ の 他	10,757	0.38%
合 計	2,808,247	100%



平成 26 年度実施の主な事業・財源内訳



消防用資機材保管庫整備事業

円滑な救助活動に資する防災資機材及び消防用車両を保管する倉庫の建設。



除雪機械購入事業

経年により老朽化した除雪作業車両の入れ替え。

地方債
(緊急防災・減災事業債)
: 1,250万円
一般財源
: 2万8千円
総 額
: 1,252万8千円

国 費
: 869万6千円
地方債 (辺地債)
: 580万円
一般財源
: 19万2千円
総 額
: 1,468万8千円

急がれる特別会計の改善

の完納と負担の公平性確保のため、滞納防止への町民の皆さんの協力が不可欠です。町の「自治力」維持のため、ご理解とご協力をお願いします。

一般会計で約1億7千万円余の余剰繰越金が生じています。各特別会計の決算状況(6ページ)では依然として、一般会計からの基準外繰入金で赤字を補填している状況が続いており、健全財政の維持を目指すうえで、特別会計の運営収支改善は最も大きな課題です。

特別会計は本来、料金収入など特定の収入をもって特定の支出に充てる独立採算制となっておりますが、現在、町の特別会計は使用料や基準内の一般会計からの繰入金だけで賄うことが出来ないうえに、基準外繰入金(赤字補填金)を行っています。

この基準外繰入金には一般会計の一般財源が充てられています。一般財源とは、町税や地方交付税などが独自に使い道を決められるお金で、独自事業を

行ううえで重要な財源です。そして、その基準外繰入を行う特別会計の中で、町が現在最も懸念しているのが「岬の湯しゃこたん」の産業交流雇用対策推進事業特別会計です。同特別会計は平成25年度に施設建設費用の償還を終え、その後、初の決算となる今回においても3,519万円を赤字補填に要しています。

監査委員からも営業状況改善の必要性等が指摘され、更なる経営手法改善の努力が求められる中、同施設では、冬期間の集客対策として、入浴料が半額の「風呂の日(毎月26日)」の実施や入浴ポイントカード制度の導入、各種イベントの開催等、様々な営業努力を行い、赤字の削減に努めています。

特別会計で赤字が発生した場合、それを放置すると赤字が累積化してしまいます。平成17年度決算で10億4千6百万円にも達し、その解消に7年もの苦難を要した赤字解消の教訓に立ち、町では一般財源の重要性を理解しながらも一般会計からの赤字補てんを行い、毎年度の収支の均衡を保っています。

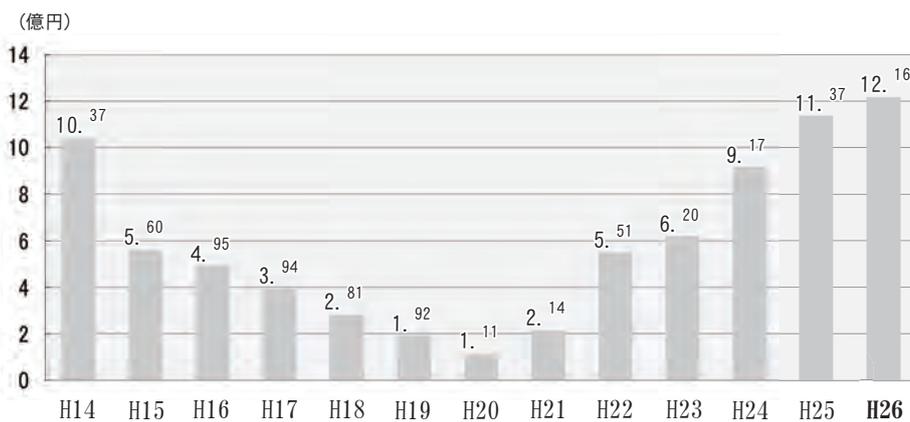
特別会計

歳入歳出決算額

会計名	歳入決算額		歳出決算額
		一般会計からの繰入金 (内 基準外繰入金)	
簡易水道事業	2億2,789万7千円	1億961万9千円 (3,480万1千円)	2億2,789万7千円
国民健康保険事業	事業勘定	2億2,288万8千円	2億2,288万8千円
	直診勘定	7,048万2千円	7,048万2千円
下水道事業	6,076万1千円	5,107万1千円 (3,948万5千円)	6,076万1千円
介護福祉サービス事業	3,787万1千円	1,596万9千円 (1,578万円)	3,787万1千円
産業交流雇用対策推進事業	1億1,898万4千円	3,518万6千円 (3,518万6千円)	1億1,898万4千円
後期高齢者医療	3,774万5千円	1,647万2千円 (0円)	3,774万5千円
合計	7億7,662万8千円	3億1,569万7千円(1億7,073万6千円)	7億7,662万8千円

まちの基金（貯金）と地方債（借金）

基金積立金の推移

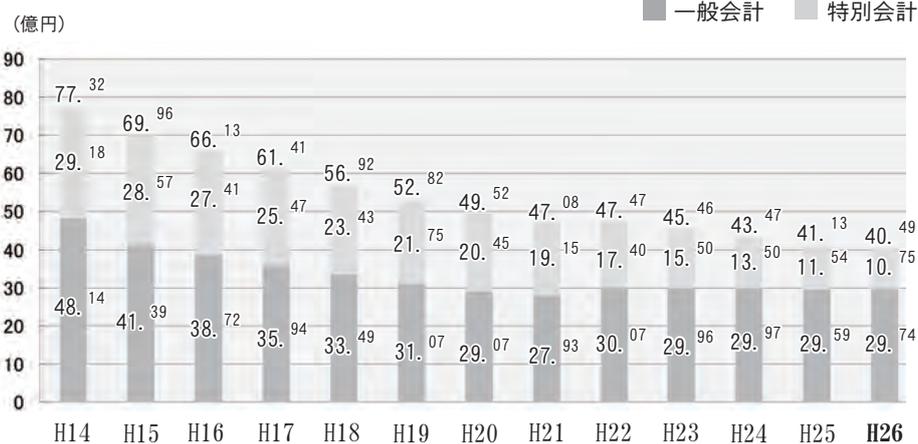


(注) 備荒資金 3 億 9,059 万円と土地開発基金 7,723 万円を含む。

※1 全ての会計の黒字や赤字を合算し、全会計での赤字の程度が標準財政規模に対してどのくらいの比率になっているのかを見るもの。

※2 備荒資金・土地開発基金については公表されていないため、除いた金額で他市町村と比較します。

地方債残高の推移



町の貯金にあたる基金総額は、財政再建中のH16～H20年度に行政サービス水準維持の財源と連結赤字比率※1縮減のための取崩しを行いました。H26年度は、減債基金に5,928万円、地域情報通信基盤施設整備基金に680万円など合計8,889万円を新たに積立て、まちづくり活動支援基金などから1,356万円の取り崩しを行い、12億1,564万円の残高となっています。

なお、H26年度決算※2では全道179市町村中、積丹町は177位、後志19町村中、19位の基金保有高でした。

地方債は、町がお金を借り入れて事業を行う借金にあたり、毎年2～3億円程度を償還しています。H26年度は、職員住宅整備事業や島武意トンネル改修事業など合計3億7,084万円の借り入れを行いました。そのうち、償還財源として国の支援措置がある過疎債及び辺地債を1億3,880万円、臨時財政対策債を8,794万円活用しました。